

はじめての試み「座・でいすかす」

はじめての試み

「座・でいすかす」

「座・でいすかす」とは

ドイツで開発された「ブラーヌクスツェレ」を参考にした取組。

目的

参加対象者を無作為抽出することにより、市政に声を届ける機会の少なかった市民からも幅広い意見を聴取し、総合計画に反映するために実施。

特徴

- 参加者を無作為抽出で選出
- 参加者に報酬を支払う
- 議論にあたって情報提供を行う

開催日程・参加者の抽出

開催日程

第1日目	12月6日(土) 9:30~16:30
第2日目	12月7日(日) 9:30~16:30
第3日目	12月14日(日) 10:00~15:40

参加者の抽出



検討テーマ

テーマ

誰もが安全で安心して過ごせる地域づくり

～安心して子育てができ、高齢期をいきいきと暮らせる

小地域づくりのアイデア提案～

3つの視点

コミュニティの視点	人と人がつながり、支えあう地域での取組みは
バリアフリーの視点	子どもや親、高齢者の生活上の障壁(バリア)をなくすには
子どもや高齢者の見守りの視点	子どもや高齢者の地域での生活の「見守り」につながる取組みは

「座・でいすかす」の流れ



情報提供の内容

第2日目

「バリアフリーとは」 「草津市の子育てバリア、高齢者のバリアの現状、問題点紹介」	政策調整課	25分
「子育て、高齢者の地域での生活に関連するコミュニティ活動の現状」 「子どもや高齢者の見守りに関する取組みの現状、問題点」	社会福祉推進課	45分
「子育て、高齢者の地域生活を支えるコミュニティ活動の具体的事例紹介」 「子どもや高齢者を見守る取組みの具体的事例紹介」	大田さん 和田さん	50分

情報提供の内容

第1日目

「草津市の紹介」	政策調整課	40分
「草津市の子育て支援に関する現状と課題」	子育て支援課	50分
「草津市における高齢者の地域での生活に関する現状と課題」	長寿福祉・介護課	50分



情報提供の様子

第2日目 情報提供の様子



南草津団地ボランティア
草の根会代表
大田 信光さん



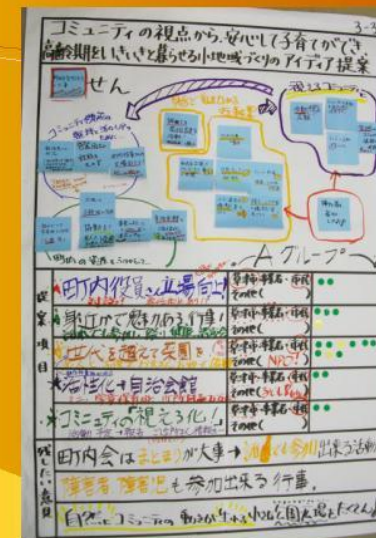
草津市民生委員
児童委員協議会会長
和田 一郎さん

意見交換・提案の場の持ち方

- 18人の参加者を3分割。6人が1つのグループとなる。
- 1つのグループの中で「係」を決めてグループワークを行う。
- 自分の意見を付せん(小さな紙)に書き込み、テーブルに置かれた模造紙(大きな紙)に書き込んだ意見を貼り、みんなの意見をまとめていく。
- 各グループでまとめた意見を発表し合う。



グループワークの成果の例



6

意見交換・提案の場の様子



3つの視点への提案に対する投票

- グループごとに、3つの視点に対応するまちづくりの提案をおこなった。
- 出し合った提案に対して、参加者で投票を行った。
- 提案が記入された模造紙に、投票シールを貼った。



投票の様子

投票シール



投票後の模造紙

3

提案 バリアフリーの視点から安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Aグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
みんなのバリアをフリーへ (「誰にもやさしいバリアフリー」「いろいろな障害者、専門職の意見をもっともっと聞いて」)	○	○	○		5
子ビッコ・シルバー集いの場 (「支生化して!」「世代をこえたコミュニティ」「旧草津川の有効利用を!」)	○			○	10
草津子育てゆりかごネット (「もっと情報を!」)	○	○	○		4
安心・安全大型スーパー (「バリアフリーの徹底化を!」)		○	○		1
語ろう!学ぼう!知ろう!感じよう!見よう! (「五感へ!福祉教育を!」)	○		○	○	2

提案 バリアフリーの視点から安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Bグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
歩きやすい道路 (「車道、歩道の区別」)	○			○	10
情報の受発信の高度化 (「インターネットや広報紙の活用」)	○		○	○	5
シニアの知識経験活かし方 (「世代間のへだたりをなくす」)			○		8
商店街の復活 (「近くで買い物できて、調理方法等教えてもらう」)	○	○	○		4
草津市からの意識改革 (「制度があるのに活用方法を活かして」)	○	○	○		5

提案 バリアフリーの視点から安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Cグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
広報くさつの有効利用 (「市民参加による紙面づくり」)	○	○	○		8
公共乗り物の全席優先席化 (「JR、バスetc」)	○	○	○		5
子どもの市民としての意識づけ (「家庭でも、学校でも」)	○		○	○	2
向こう三軒両となり運動展開 (「家庭でも、学校でも」)			○		7
公民館、市民センターなど既存施設の有効利用 (「家庭でも、学校でも」)	○		○		3

提案 コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Aグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
町内役員さん立場向上! (「対応!」「専任制あり?!」)	○		○	○	2
身近で能力ある行事! (「誰でも参加」「祭り」「健康」「講演会」)	○	○	○		4
耕作放棄地をつかって 世代を超えて菜園を (「老人と子供もお父さん、お母さんも協働」)	○		○	○	9
活性化⇒自治会館 (「ミニ学童保育」「近所同士お互いに」)	○		○	○	2
コミュニティの「見える化!」 (「活動予定→報告」「ご近所さん情報も」「中学校区くらい」)	○		○	○	2

提案 コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Bグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
ふれあい相談の場づくり (「子供、老人、障害者のふれあいの場」「公民館、学校、efo)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	5
人材発掘と育成 (「ボランティアの活用」「遊び」「高齢者や大学生等の知恵を」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11
定期的な行事の開催 (「びわ湖演舞」「ギネス挑戦」等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		8
防犯対策 (「子供110番の活用方法」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		2
身近な所からの健康づくり (「ウォーキング体験など」「行政フォロー」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		6

提案 子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Aグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
アイサツ運動から井戸端会議まで地域の声かけ・語りづくり!	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		8
フットリッジさん(南草津の学生防犯サークル)に学んで、市全体に地域防犯の取組を拡げよう!			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4
既存の組織から機動力のある助け合い隊へ!			<input type="checkbox"/>		1
子ども110番のいえから「地域の110番のいえへ」			<input type="checkbox"/>		3
登下校の見守り隊 毎日朝夕	<input type="checkbox"/>				4

二

提案 コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Cグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
「広報くさつ」活用 (「クーポン券(印刷)はさみ込む」「町内会、学校、市民のページ」「地域の行事予定の掲載」)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8
町内会のあい方 (「町内会を楽しく活発にして行く市民と市の協力」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		3
市営バス運行 (「公共施設へ向かうバス」)(「乳幼児連れの子と老人の方は低費用で」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		8
情報ひみつ基地 (「町内活動、意見、情報の交換」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4
自治意識の高揚 (「選挙に行こう」「先ずはあいさつから」)				<input type="checkbox"/>	5

提案 子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Bグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
ITグッズやロボットの活用 (「見張り、いやし、情報伝達、家事、手伝い」)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	6
ホットラインの充実 (「SOS、#932」)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	8
充実した見守りを実現するための人材育成 (「登下校、本の読み聞かせ等」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		7
近所つきあい (「お隣大丈夫?SOS」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		7
見守る人がいる安全な遊び場所 (「お隣大丈夫?SOS」)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		8

提案 子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ
高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

■Cグループ

提案項目	取組主体				票数
	市	事業者	市民	他	
高齢者と子供の交流 (「ラジオ体操」「夏祭」「草刈り」)	○		○		4
登下校時の立ち当番 (「交通指導」「防犯」)			○		6
声をかけよう！ (「見知らぬ子どもにも、いつでも、どこでも、誰にでも」)			○		6
学校へ行こう！ (「高齢者→保育園、幼稚園、小学校、中学校へ」)	○		○		2
遊び場の確保！ (「老若男女問わず」)	○		○		4

第5次草津市総合計画

基本構想（案）

将来ビジョン

将来に描くまちの姿

出会いが織りなすふるさと
“元気”と“うるおい”のあるまち 草津

高いところざし

親しみと憧れ

出会いと交流

自負と責任

基本フレーム

将来人口

平成32年

135,000人

まちの構造



まちづくりの基本方向

「人」が
輝くまちへ

「安心」が
得られるまちへ

「心地よさ」が
感じられるまちへ

「活気」が
あふれるまちへ

行政の姿勢と役割

地域経営への転換

協働のまちづくりの
基盤強化